

会 議 録

会 議 名	平成19年度第2回小金井市青少年の育成環境審議会		
事 務 局 (担当課)	児童青少年課		
開 催 日 時	平成19年10月18日(木) 午後2時30分～4時10分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎301会議室		
出 席 者	委 員	遠藤(会長)、齋藤(会長職務代理者)、佐藤、川畑、山川、天野、中根、伊藤、中井	
	事務局	小野内児童青少年課長、安藤主事	
傍聴の可否	可	傍 聴 者 数	0人
会 議 次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 (1) 検討事項について (2) 平成19年度青少年育成環境改善活動の実施について (3) その他 4 閉 会		
会 議 結 果	1 開 会 小野内児童青少年課長 2 会長あいさつ 遠藤会長 3 議 題 順番を変えて進めた。 (2) 平成19年度青少年育成環境改善活動の実施について 事務局から、配布資料に基づいて説明する。質疑もなく了承となった。 (1) 検討事項について 検討事項は、子どもの放課後の居場所について児童・生徒・保護者からアンケートを取り、その結果に基づいて提言をしていくことと決定した。 なお、各委員からアンケート項目を11月30日までに事務局へあげ、それに基づき遠藤会長、齋藤職務代理者、山川委員、事務局で案を作成し、次回の審議会に提案し、協議することとなった。 今回は、来年2月21日(木) 午後2時からと決定した。 4 閉 会 遠藤会長		

提出資料	<ol style="list-style-type: none">1 平成19年度第2回小金井市青少年の育成環境審議会次第2 青少年の育成環境を守るための施策について（答申）抜粋3 平成19年度青少年育成環境改善活動実施要領4 平成19年度青少年育成環境改善活動内容5 平成19年度青少年育成環境改善活動実施区域地図6 報告書「地域の教育力を生かし、健やかな子どもを育てよう」 平成19年6月発行 小金井市青少年問題協議会
------	---

審 議 経 過

発 言 者	内 容
遠藤会長	<p>皆さんお忙しいところありがとうございます。このメンバーで今年第3回目の育成環境審議会になると思います。本日もご審議をよろしくをお願いします。</p> <p>議題の(1)の検討事項が今日の話の内容になると思いますが、議題の(2)平成19年度青少年育成環境改善活動の実施についてを事務局から報告ということになると思いますが、こちらのほうから最初に、お願いしてよろしいですか。</p>
事務局（安藤主事）	<p>資料6ページの「平成19年度青少年育成環境改善活動実施要領」に基づき、目的、実施日時、場所、内容、協力者、協力機関について、説明をする。</p> <p>続いて資料7ページの「平成19年度青少年育成環境改善活動内容」により、地区協力員の活動区域（地図添付）、活動内容、撤去物収集場所、活動時間、班長名等を説明する。</p> <p>なお、結果につきましては次回のこの審議会にご報告をします。</p>
遠藤会長	<p>例年この時期に実施しているということですが。昨年までと特段変わったところはありませんか。</p>
事務局（安藤主事）	<p>特にはございません。平成9年から実施してまいりまして、今年で11回目になります。</p>
遠藤会長	<p>この点につきまして、何かご質問はありますか。</p> <p>ないようですので、この結果報告がありましたときに、反省点、改善点等のご意見があれば出していただくということで、次に移りたいと思います。</p> <p>審議会の検討事項についての議題に入っていきたいと思いますが、今まで過去2回、各委員の思っているところ、あるいはそれぞれの立場で思っている問題点などを相当細かく、フリーに意見交換をしてきました。3か月に1回ということで、前回何を話したか忘れてしまうこともあります。事務局で議事録をまとめていただいています。</p>

発 言 者	内 容
(遠藤会長)	<p>この審議会のできたときと最近とでは、いろいろな青少年への環境、また小金井市の環境が変化してきている。それで変更については、基本的に委員があれこれ口でしゃべるのではなくて、規則の変更、要綱の変更などについては、事務局である程度時間がかかってもまとめてその段階で皆さんの意見を頂戴しようと言う方向になっています。</p> <p>それはそれとしまして、昨年この審議会で答申を出しました。これに関連するところで、さらに審議会の取り組みの方向を考えてみるのもひとつの方法かと思ひまして、前回までの意見を踏まえ、私も考え、事務局とも意見調整をいろいろとしてまいりました。齋藤職務代理者のご意見も事務局で聞いていたようです。</p> <p>考えてみましたが、携帯電話のフィルタリング活用のPR、広報は相当、携帯会社でも、あるいは東京都その他でも可能な限りやっているのでそこに我々が追加で意見あるいは指導の徹底を図るという方向は現状では今のところ必要がなさそうである。有害情報の侵入口である携帯電話のフィルタリングに関するものについては、今この審議会でどうのこうのというテーマではなくなっているようである。</p> <p>それから有害媒体の掲示の撤去については、前回でも報告がありましたが、いわゆるピンクチラシ、ステッカーの類は減っている状況にあるので、従ってそちらの対策強化というのも審議会で現状としては必要ないと思われる。</p> <p>それから、薬物乱用防止とかその辺につきましては、我々審議会の守備範囲を超える部分もあるかなと思います。</p> <p>そうすると、先ほどの昨年提出した答申書の6、7ページあたりに書いてありますが、地域コーディネーターの養成について、もっと組織の充実化、情報の公開について我々の意見をいう必要があるか、あるいは、子どもの放課後の健全な居場所づくりについて提言ができるのではないか、このあたりについて、考えてみました。</p> <p>まず、地域コーディネーターの養成について、昨年の答申書で尤もな指摘をしたつもりですが、もう少し情報交換を組織的に、あるいは、地域コーディネーターの養成についてサポートすることが必要ではないですかということについて、この審議会でも取り組みを考えてみましたが、現実的には、地域コーディネーターは青少年健全地区委員会、あるいは、子供会育成連合会役員の方々が担っていて、まだま</p>

発 言 者	内 容
(遠藤会長)	<p>だ不十分な点があるかもしれませんが、地域コーディネーターの養成についてその現場の責任者の方々が、情報交換とその伝達について鋭意工夫されている。従って、審議会の立場で、こうしろと上から命ずるとか提言するとかのテーマではないと感じました。</p> <p>そこで子どもの放課後の居場所に関する調査とか検討という辺りは、ある程度学校の協力が得られれば、子ども達が、あるいは親達がどんな意識で、あるいはどんな不安を抱えながら向き合っているのだろうか、あるいはどういう希望があるのか、このあたりについて突っ込んで検討していくことができるのかなと考えてみました。</p> <p>そこで、ひとつのタイミングとしまして、本日配布された小冊子これは小金井市で古くから市長以下、市議さん達がメンバーとなってやっておられる小金井市青少年問題協議会という組織がありまして、ここで2年に一度基礎的調査研究をしている。学校、父兄等の協力が必要なアンケート調査を来年1月か2月に実施する予定であるという情報がございました。</p> <p>この小冊子の最後の方の65ページにこの協議会のメンバーが書かれています。</p> <p>ここは、先駆的に過去からアンケート調査、あるいは意識調査などをされています。もし、可能であれば、我々のこの審議会では子どもの放課後の居場所についての意識とか、あるいは、現状で子ども達が、あるいは親達が市に、あるいは地域に、あるいは組織に希望したいテーマはなんですか、どんなことですかという質問を投げかけて、その返答をもらって、重要なひとつの生の声としての資料が入手できればいいなと考えました。</p> <p>それとは別にこの審議会独自の調査とかの方法も場合によってはいいかと思いますが、一つのタイミングとして来年1、2月に先ほどの協議会で企画している市内の小中学校の児童、生徒、保護者を対象としたアンケート実施の予定があるというので、それに、こちらの審議会の質問事項、調査事項を載せたいなと感じまして、またそれが可能かどうかこの辺り本町小学校の校長先生であります山川委員、何かそういうアンケートをお願いすることの問題点などがございましたら、ご教示願えたらと思います。アンケートを取ることに付いての何か注意点、あるいは、こんな形に留意したらどうかなど何かご意見を</p>

発 言 者	内 容
(遠藤会長)	お聞かせいただければと思いますが、いかがでしょうか。
山川委員	<p>まず、対象学年をどうするかです。個人的には、小学生の場合は、高学年がいいと思います。今、どこの学校も学習内容の定着、学問の向上を目標として事務を進めていっています。授業時数もなかなか厳しいものがありますので授業時間を使つての調査となると難しい。子ども達が休み時間等に記入できるような内容のものとなると、高学年になると思います。</p>
遠藤会長	<p>高学年というイメージは、たとえば、小学校1年から6年でいいますと5、6年生になりますか。</p>
山川委員	<p>そうです。5年生になりますと、かなり、国語力がついてきていますので、アンケートには答えられる学年だと思います。</p> <p>あと、中学生をどうするかということですが、中学生になりますと、部活に入っていない子どもは少ないです。中学生が放課後、自由に遊んでいるということは、眉をひそめるような裏社会があるのではないか。</p>
	<p>中学生に調査をするかどうかというのは、私は小学校なので、小学生についてはわかります。前回の会議録を見せていただきましたが、中井委員が学童保育所が3年生で終わりである。そうしますと4年生がどう過ごしていいか困っているという状況があるのではないかというお話があった。私も心配をしている一人です。4年生についても聞くことができればと思いますが、文章の理解力がまだ不足している。短時間に記入できるものがつくれるかどうか気になります。</p>
	<p>また、市内に小中学校が14校ありますが、全部にわたって調査するのは難しいと思います。青少年問題協議会のこのアンケートでは、校長だけです。保護者も全校ではないですね。私は、中央線を挟んで南側で1校、北側で1校でいいと思います。小金井市は、地域も狭いですし、特色もそうは変わらないと思います。各1校ずつ抽出することで子どもたちの考えも把握できると思います。</p>
遠藤会長	<p>冒頭から私がしゃべりっぱなしで、ひとつの機会が1、2月あたりに設定されそうなので、こちら委員が意見交換をした内容に関連するようなアンケートを学校にお願いしようかという話までいっぺんにいってしまいましたが、そういうことで、アンケートの調査をすること自体について、審議会のひとつの基礎資料づくりでしかないのかも</p>

発 言 者	内 容
(遠藤会長) 伊藤委員	<p>しれませんが、それにつきまして、あまり意味がないのではないかと か、それはそれでしてみようではないかとかご意見を忌憚なくお話し ください。</p> <p>前回の審議会の議事録をまとめたものを送っていただき、私も読み まして、たまたま私がどういうテーマをみんなで取り組むかというこ とで意見を求められまして、いろいろありますけれども、先ほど会長 が説明されましたように、子どもの学校の中での生活は学校の先生が 管理、指導されているからそれはいいとして、学校から開放された家 庭とか地域での健全な居場所づくりについていろいろ組織が重なっ ているし、それがどのように有機的に働いているのか、あるいは、実 際に子ども達が学校を離れた地域にあったときにどのような活動を しているのか、およそ、あまり外に出ない、家の中にばかりいるとか いろいろとよくわかりますが、本当にそうなのかというところを、ア ンケートを使って集約をしてそれで出た結果でこういう指導も考え ていくということを考えていけばいい。</p> <p>実施学年は、先生もおっしゃられたように、全学年をするのは大変 なことですし、また、アンケートの内容も制限されますので、小学校 の5、6年と、私も学習教室で5年生の国語と中学生の英語を担当し ていますが、小学生と中学生では考え方が広がっていくので、中学生 も先生が先ほど話されましたように、小金井市はあまり地域差がない ということですので、線路をはさんで南と北1校ずつぐらい、進学で 忙しいかもしれませんが、また、実施する時期にも由りますが2年生か 3年生でということ、ひとつ提案したいと思います。</p>
遠藤会長	<p>学童保育所は、小学校3年生までですか。4年生にアンケートをと るとするのはなかなか難しいようですが、アンケートの内容を簡単に すればいいのかもしれない。4年生でも理解できるような表現方法で も考えれば（できなくもない）</p> <p>小学校5、6年生、中学校2、3年生あたりで、全部の学校ではな くて、ということですか。</p> <p>外に何かアンケート調査をやってみようではないかと。それで、学 校以外の家庭なり、地域での子ども達の活動状況という意識という か希望というそういうものなどを調査してみたいなと申し上げたわ けです。</p>

発 言 者	内 容
佐藤委員	<p>私達も今阿波踊りをしています。ここで25年していますが、今年は、中学生をどうやって事業に参加させるか。地区では幼稚園の年長さんから上は無尽までという形でしています。いま50人から100人位の間の子ども達が1か月間指導して、三々五々で、これは強制ではなくて、あくまでも申し込みを受け付けて踊るものです。私達は指導はしますが、中には入らない。</p> <p>一番難しいのは中学生です。中学生をどういう形で引っ張り込むかということで、今年もしてみました。子どもたちの中でちょっと元気な子が見つかりますと、その子を中心としたグループができやすい。その子をおだてたり、出てきている子達をおだてたりして、13人の1年生達のグループで小さい子の面倒を見ながら、その代わり、私達も危険なことをすれば怒りますが、自主性を持たせてやらせています。その子たちも、部活をやりながらそういう地域活動ということで、校長先生にもお願いをしてほめていただいたり、つながりを持って今年半年間してきました。この間も齋藤委員のほうで東京都のイベントがありまして、小学生は募集をかけるとすぐに集まるのですが、中学生のほうに難しいかと思っていまして、かえって、そういう子ども達の方が声をかけたら出てこいよ出てこいよみたいな形で大勢出てくれてきちんとできました。</p> <p>地域の人達が取っ掛かりをどうやって掴んであげるかということだと私は思っています。広げてあげてボランティア活動にどのように呼び込んでいくか、その中でも、3年生の子ども達も「受験だがここ1時間だけ出てくるね」とかしていくと、子ども達は結構出てきてくれます。</p> <p>学校の先生が言うと、反発があったり、自分がいい子になるみたいにいわれるのは嫌なものだから、なかなか突破口が開けない。</p> <p>だから、どうやって地域の子どものを見つけるのが大変でしたね。</p>
川畑委員	<p>好きなお子さんが参加するという形ですから、興味を持っている分野にお子さんが出てくるというのは確かですね。中学生になると先ほど佐藤さんが話されましたようになかなか集まりづらい。部活も塾もいろいろ違いますので、練習時間に来るとするのは難しいということはあると思います。どういうことをやるにしてもそれをどうやってクリアしていくのかということが大きい。</p>

発 言 者	内 容
(川畑委員) 佐藤委員	<p>いろいろなことに関して、子ども達はやる意欲はあると思います。上から押し付けると逃げてしまう。それでも、結構、子ども同士の中ですと、鳴り物などしたことも、太鼓など叩いたこともないのにその子どもたちのグループの中に引っ張り込まれてくる、そういう傾向がどうもあるようです。学校にもお願いはしてみても、ないので、地域の知っている子ども達に声をかけながら、時間をかけてしていかないと難しい。ここにも、市が職業体験学習で、家でも風呂屋をされていて、子ども達も来ますが、昔の風呂屋の苦労とか、お店の苦労とか全然知らないわけです。そういうことを私達は半日ぐらいかけて子ども達と意見交換をいろいろしていきますが、聞いてはいるが、本当の教科書のようなパッと取ったような現実です。時代の流れがわかっていないというのが一番です。私もよく風呂屋をやっていてどうですかと、いや、私は中学生のときは小遣いが欲しければ新聞配達をしておじさんなんかこれだけもらったよと、それで親に靴を買ってあげたとかそういう話をしていきますが、子ども達は目を輝かして聞いてくれます。だから、そういうことはいいことだと思います。</p>
中井委員	<p>アンケートのことですが、山川先生もおっしゃられましたが、5, 6年生の方がいろいろな文章は短時間でできると思いますが、先ほども話しましたが、4年生が学童保育が終わるということで、親が心配になる学年なので、4年生も入れられないかなと思いました。ただ、学童保育といっても全員でないので、親が勤められている子どもが主に行きますが、5, 6年になると今度は私立受験の子どもが増えてきます。そうしますと、放課後の遊びのアンケートの答えがある程度、受験組とそうでない組とで方向がはっきりと出てきて、4年生ぐらいのほうはまだ放課後に「ああしたい」、「こうしたい」という考えを持っている子どものほうが多い気がします。そんなことを含めて、対象を南側1つ、北側1つということであれば尚のこと集団は大きいほうが良いと思いました。ただ、アンケートの中身が何を聞くかによって、また質問の状態によって違ってくるとは思いますが。</p>
遠藤会長	<p>今度の協議会は何をしようか考えていまして、アンケートを出してみようと。アンケートの回収率を高めるには、記述部分を少なくする、選択肢を上手に作って「学校以外の時間は、あなたは何時間ぐらいどんな割り振りですしていますか。」、1時間、2時間、3時間、4時間、</p>

発 言 者	内 容
(遠藤課長)	<p>と、中身の信憑性は少しずれても、回答しやすいような資料を作ったほうが良い。あるいは社会見学などを実施するとしたらどんなものか、ひとつ何々、というように、○印をつける選択を中心としたもので、文章を書きたい人にはそれ以外の記述を書ける欄を設けておいて、印刷の経費の問題があるかもしれませんが、中身に特段問題がなければ回答数を増やすためにそう絞り込まないで協力していただける学校に、いつごろまでに結果を、まとまった分だけで結構ですから出していただきたいと（考えています）。</p> <p>先ほどの小金井市青少年問題協議会とはちがったスタンスになると思います。それで、子どもの健全育成のために地域であるいは家庭での情報としてそのままを市の方で取り組んで提供していけばいいかどうか、ひとつ生の声をパーセントで聞いてみると（いうことです。）、我々が意見を交わしてしまして、多分言っていることと間違いないと思いますが、本人達がどういう希望を出すか、あるいは、回答を出すか、それを取り易いスタイルにまとめられたらいいなと（思っています）。</p> <p>アンケートを作るほうもそれは大変ですが、そういう形の準備をできるなら12月中にして、ご了解をいただいてからすると（いう方向でいきたいと考えています）。</p> <p>肩の張らない、アンケートに答えるのに考えてしまうというものでない方がいいと思います。それから保護者をお願いするかどうか。これについてもレアケースでしょうが、保護者、学校とで何に使うのかとか実際繊細なご父兄も増えていると思います。アンケートを取って、どう使うのかとか。記名式でなくていいし、匿名で結構ですが、どう使うのかということには、これからの小金井市の青少年の健全育成の基礎調査資料として使いますという以上あまりないですね。</p>
佐藤委員	<p>たとえば、学年でするのでしたら学年のお母さん方をお願いするか、それともPTAに頼んでPTAの手を通して、私達の誰かが会長と会って趣旨説明をして協力をお願いできないかとお願いして出していくのかによって、随分差が出ると思います。先生をお願いしてこのクラスを調査しますからこのクラスの子どもとお母さんで行くのか、それとも親の意見として、放課後、5年生以上どう過ごしていますか、どういうことの心配がありますかみたいな総括的な調査である</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員)	<p>程度PTAにお願いしていくのか。全校にするのか、4年生にするのか、そういうやり方もいろいろとあると思いますが、そののところがきちんと筋さえ立てれば、学校でも大丈夫ですよね。ただ、校長先生が受けていってワーツとやってやると下から衝かれるからそれはそれできちんと筋を立てて、PTAならPTA、学校のクラスのお母さんならクラスのお母さんの学級委員に、このクラスをこういうことで子どもを対象としてアンケートを実施したいので協力をお願いしたいということできちんとしておかないと、あとでぐずぐず言われることになりかねない。</p>
事務局（安藤主事）	<p>市で、3年か4年に一度「のびゆく子どもプラン小金井」という冊子を作っていて、その中で、いろいろな施策につきまして、現在の施策状況、また将来的な施策等を掲載しています。たとえば、基本方針、基本目標、施策の方向という大きな柱の中にそれぞれ項目を設けまして、例を上げますと、基本方針に「子どもの育ちを支えます」をあげ、基本目標として「子どもの豊かな体験と仲間作りを支えます」とし、施策の方向といたしまして「子どもの居場所と交流の場を提供します」としまして、その中で、具体的内容を掲げています。また、別の基本方針としまして、「地域の子育ち、子育て環境を整えます」を謳い、基本目標に「21世紀の子育ての環境を整えます」や「次世代の子どもへの環境を整えます」を掲げ、施策の方向として「使いやすい公共施設、遊び場を整備します」を具体的に載せています。</p> <p>そこで、ここで取りますアンケートをまとめましたものをここに反映させていけば、施策ですから実現になる可能性がかなり高くなりますので、アンケートを取る目的になると思います。</p>
事務局（小野内児童青少年課長）	<p>実際に放課後子どもプランに載せられるものは児童青少年課として何かしたことがあるのかといわれますと、前回の平成17年に、学童保育所は午前中暇ではないか、何かに使えないかという事が書かれていました。そこで、学童保育と児童館と話をし、学童保育が午前中あいていますから、その時間子育て支援として、乳幼児に集まってもらい、お母さん達の交流の場にしようということで、18年から始まりました経過があります。</p> <p>いいアンケートの結果が出てくれば、児童青少年課に還ってきますから、それをどう活かせるか考えていきたいと思っています。</p>

発 言 者	内 容
<p>(事務局)</p> <p>遠藤会長 佐藤委員</p>	<p>いろいろな課が関係してきますので、どこの課に行くかわかりませんが、そこで出来る範囲で実現できるということになります。</p> <p>実績もないわけではないということですね。</p> <p>3年生で終わって、6年生までの子どもたちの集まる場所がないというのが、一番の課題ですね。今、北町に子ども図書館がありますがそこは特殊な会館です。ごみの中間処理場の還元施設として、ごみ対策課が所管している施設です。学校から帰ってきてかなりの子ども達が6時ごろまで勉強にきたり、本を読んだりしています。そこは大人以外は誰でもフリーです。中学生を含めた子どもを中心にした場所です。こういう会議室に図書が置いてあります。そういうのがもう少しあればいいんですが。そこは、地域の人達が管理している。町会の人達が当番制で、午前中とか午後とか一日とか必ずそこにいる。役所の人間でなくて、会館自体の管理を全部、運営から何から、お金は出しますが、口は出しませんよという形でしてくれている。ですから、見ていると、フリーの子どもたちが結構あちこちからやってきている。その管理の人たちの意見を聞いてみるのも子どもの世相を反映して、私達もいろいろ聞いてくるのですが。</p> <p>正直言って、5年生以上になると子どもの居場所がないというのが一番の（課題だと思います。）</p> <p>先ほど事務局が言われましたけれどもそこをやりますやりますと書いてはくれていますが、現実的には、子育て支援は盛況ですよ。児童館のしているのはすごく多いです。建物としても、いっぱいである。作ることは無理だから、正直のところ、したはいいが、これ以上ははみ出してしまう。</p> <p>今、学校で土曜日の学校開放もありますが、こういう危ない世の中ですから、子ども達がもう少し、自由に勉強したり、本を読んだり、親が安心して集まれる施設が小金井にもう少しあると、正直言ってすごくいいと私達も思っています。多分、親の意見も大体似たり寄ったりだと思います。</p> <p>この間のうちの事件みたいなのがあると、子どもを外に出しませんからね。児童館に行くというならいいけれども、個人的にどこかに行くとなると止めますよ。親からアンケートを取れば、自分達の子どもを家の中に閉じ込めている切実な意見が子ども達以上に出てくるの</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員) 事務局 (小野 内児童青少年 課長)	<p>ではないかと思えます。</p> <p>実はお詫びしたいことがあるのですが、前回私から青少年問題協議会で、来年アンケート調査がありますので、できればといったのかとしれませんが、会長が言われましたが、その時期にとらわれなくて、来年に入ってからでも、問題はアンケートの設問の中身ですので、そこをじっくり練っていただいて、するということを頭に入れて置いていただければと思えます。</p> <p>青少年問題協議会がどうして1月か2月の早くにするのかはまだいえないのですが、理由があります。そういう関係で急いでいます。</p> <p>そういうことで、この審議会では時期的なことはそんなにがちがちに考えなくて良いと思えます。</p>
佐藤委員	<p>会長がおっしゃられたようにそのところが一番、親御さんの意見をなかなか吸い上げてあげられない、子ども達の意見をなかなか聞く機会がないというのが、あれだと思えます。</p>
遠藤会長 事務局 (小野 内児童青少年 課長)	<p>経費がかかりますが、印刷経費位のものでしょうか。</p> <p>カラーで何とかかんとかしてくれとなると、別ですが。</p>
佐藤委員	<p>設問だけだから、全校するとしたら別だけれど、例えば南側で中学校1校、小学校1校、北側で小学校1校、中学校1校の4校だったら、それで、出てきた結果、これだったらもう少し聞いてみたら、ということをするのもいいし。</p>
遠藤会長 事務局 (安藤 主事)	<p>全員に直送し、郵送してもらおうということではなく、お持ちしてご説明をして、お願いをして、集まったらとりに行く。</p> <p>学校にお願いしまして、担任の先生にまとめていただいたものを取りに伺うということを考えています。</p>
佐藤委員	<p>P T Aの方を学校側に負担をかけると、先ほど会長がおっしゃられたように説明の部分「何に使うの」ということを先生が時間を割いてしないと大変ですから、P T Aにお願いするのなら、こちらの方で会長が会うなり、クラスのお母さんでも同じで、会長を通してこういうことで、子どもと一緒にとりたいからと決めていかないと、校長先生、副校長先生が大変になります。</p> <p>了解は取れると思えます。委員会の中に会長を置いてこういうこと</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員)	<p>をしたいからと、組織ですから。それが、学校側から、役所側から強制的にする形になると、持っていったものが学校側に問い合わせがいっぱい来て、あとはどうするのですかということになりますから。だから、学校側のことは校長先生にお願いし、親の部分に触れるものについては、PTA会長にお願いして、その仲立ちを校長先生、副校長先生にお願いしてという形が一番いいと思っていますが、校長先生どうですか。</p>
山川委員	<p>親御さんのアンケートについては、PTA連合会にお願いして、子どものアンケートについては校長会にお話していただければ、よろしいかと思います。</p>
遠藤会長	<p>先ほどのお話にも出ていましたけれども調査の趣旨をご理解していただける内容としていただければ協力していただけると思います。</p>
山川委員	<p>依頼の仕方を誤解されないようにということです。</p>
遠藤会長	<p>先ほど会長さんから12月にアンケート準備というお話がありましたが、少ししか時間がありませんので、じっくり検討してからのほうが良いと思います。</p>
伊藤委員	<p>それでは、協議会のほうは1、2月にアンケート調査を実施するということですが、それに便乗する必要はないということでもいいですね。</p>
事務局（安藤主事）	<p>アンケートの内容が一番難しいと思います。これからどういうことを私達は目論んでアンケートを作るのか。目論見と内容をどうするのか、これは非常に難しい。あまり急いでもすることもない。時間をかけて、最初に子ども達の健全な居場所をどういうところが一番いいのかと頭の中に置きながら、それにアプローチするような内容を検討していかないと、ただ通り一遍だと誰がしても同じような結論になる。</p>
遠藤会長	<p>アンケートを実施した自治体がありまして、設問内容を送っていただいたところ、小学生用、中学生用とありまして、たとえば、「平日（学校がある日）の放課後に、あなたはどのようなところで過ごしますか。」と設問に対して、選択肢として、詳しく「自分の家」、「友達の家」、「学校の教室や図書室」等9つの項目をあげています。また、それぞれの項目の中を「よくある、ときどきある、あまりない、ぜんぜんない」と4つの選択肢に分けています。</p>
遠藤会長	<p>そういうのも参考にして、最終的に答えをある程度もらって、この</p>

発 言 者	内 容
(遠藤会長)	<p>審議会ですらこうして欲しいという意見の資料にします。</p> <p>アンケート調査項目をどんどん作って行って、それにどんどん付け加えていくことで、事務的作業が大変かもしれませんが、(していききたい。)</p>
佐藤委員	<p>1 ページではまとまらないが、予算的な面もあるので、そんなに細かくなくても、初めてですから収められるところで、するということですかね。</p>
川畑委員	<p>範囲を絞ってすればそんなにならないのでは。</p>
遠藤会長	<p>そうは言いながら、現実には作って見ると思った以上に(多くなりそうですね。)</p> <p>子ども達や保護者にアンケート調査を試みようという方向でいくと。</p>
齋藤委員	<p>調査事項の絞りはどうしましょうか。今までの声と去年の答申に書いたようなことを踏まえて、私と齋藤委員と事務局にらせていただいて原案を作成し、それに追加、変更して作成するという筋道で行く(ということよろしいでしょうか。)何かありましたらお願いします。</p>
齋藤委員	<p>協議会とのアンケートのタイアップということは筋が違うのではないかと気になっていたのですが、それはないということでホッとしました。</p>
齋藤委員	<p>いずれにしても青少年の育成環境をどう整えていくのかという審議会だと思います。そのアンケートを取った以上は、こうあるべきなのでは、こうすべきではないかというところまで輪が広がっていく議題になっていくのかなと思っていました。</p>
齋藤委員	<p>放課後の子ども達の居場所をどう確保するのかに限定していけば、比較的設問も数多くなくて作れるかなと思います。</p>
齋藤委員	<p>前回の会議でも申しましたが、すでに小金井でも放課後子どもプランが動いていまして、そこでは、放課後どうするべきかということあまり議論していなくて、既存の事業を継続していくのかなとこの間の会議を見てて思いました。むしろ私どものこの審議会では、子どもの放課後をこれからどうしていくのかという審議会がまさしくそうなのかなという思いがありますから、逆に向こうにこうしたほうがいいのではと具申してもいいですし、市の方へそういう意見具申をしてもいいのかなと思います。</p>

発 言 者	内 容
事務局（小野内児童青少年課長）	<p>第1回の委員会で中井委員から意見をいただいたことがありました。委員の皆さんがどういうものを盛り込みたいのか一定期限を決めておいて提出していただいて、それを事務局と会長と齋藤委員、山川委員にも入っていただくことになるかも知れませんが、そういうことで、進めていくということは、いかがでしょうか。</p>
遠藤会長	<p>皆さんに宿題を出して、こういう設問の問いかけでどうだというふうに児童青少年課の課長さん、安藤さんにあてに出すということの提案です。</p>
中井委員	<p>それでは、事務局から、お考えの質問項目を書いてくださいという用紙をお送りしますので、それに書き込んでいただき、11月半ば位から11月いっぱい位までに事務局宛にFAX、返信用封筒、Eメール等で送り返してください。</p>
遠藤会長	<p>それを事務局で、取りまとめ、それを齋藤委員と私とで意見を盛り込んだアンケート質問事項をまとめてみて、それで議論をしていくということですね。</p>
中井委員	<p>それでは、これは、この程度の議論に今日はしておきまして、そういう方針で行きたいと思います。</p>
遠藤会長	<p>対象学年はどうなりますか。それによって、質問項目も変わってきますので。</p>
遠藤会長	<p>4年生も含めて考えてください。学童にいつている子ども、いつていない子ども、学童だったという子どもだけという限定はおかしいですか。</p>
遠藤会長	<p>校長先生のご意見もございましたけれども、小学校4年生から中学校3年生ぐらいまで、中一を削るとか、小4を削るとかになるかもしれませんが、そんなターゲットに対する児童への質問と親御さんへ聞きたいこととか、自分の聞きたいジャンルで良いと思います。</p>
佐藤委員	<p>全部についての宿題をお持ち帰りくださいという気持ちはありません。私はこの点をということだけでよろしいと思います。</p> <p>警察のほうでは最近、特に青少年の犯罪状況でご報告をいただけるものは特段ありませんでしょうか。</p> <p>今、裏ネットが高校生もそうですが、中学生にも私達の会議の中で話題になっている。親は全然承知していない。現場の写真を見せてこんなのが載っているんですよと見せて、親がびっくりする。だから</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員) 中根委員	<p>口で言っても駄目ですね。ここにも保護者の責務と書いてありますが、現実はこのものではなくて、ひどすぎる。今、警察が各学校の中学生や親に聞かせる講演会をして下さっていますが。</p> <p>ネット犯罪については、各小学校、中学校も関心を持ってきて警視庁の専門家も参加してパワーポイントなどを使ってインターネットの裏サイト、あるいは裏ホームページ、なりすましでの誹謗中傷、そういうものについて、だいぶ啓発活動を始めていますけれども、実際保護者達が見ているかというを見ていないと思っています。ネットもそうですし、この間も少女まんがが話題になっていましたが、原則は見ただけであれば一番いいのですが、非常に陰険で、匿名性があって、みんなで渡れば恐くない、最近の少年も一人ではほとんど何にもできないが、3, 4人集まるととんでもない行動に出て行くことがある。徐々にではありますが、学校でもいろいろしていますが押さえが利かない。表現の自由だとかいろいろあって、きちんと指導できればいいのですけれどそこまでできない。</p> <p>インターネットもどこが発信しているのかわかっていない。あるいは、インターネットの中にウィルスが入り込んで、そこを拠点として発信する。そういうことがあるので、なおさら、子どもの自立心をしっかり育ててあげないと、すぐ、悪い方向に染まってしまう。</p> <p>居場所の確保にしても、自分の世代と違う大人と交流を持って、正しい常識、経験、日本の伝統、小金井市の伝統を教えていける場所があると、子ども達は健やかに育っていけるのかなと思います。</p>
山川委員	<p>小金井市の学校の中にも実際に、裏サイトがあるらしいですね。</p> <p>インターネットの話ですが、9月中旬にセーフティ教室を、携帯電話は本校の児童はほとんど持っていないのですが、これから持つだろうということで、携帯電話会社の人に来ていただいて、携帯電話を持ったときの心構えについて説明していただきました。フィルタリングについてですが、5,6年生が対象ですが、子ども達はよく話が分かっているみたいでした。保護者を対象としたものが、台風のために延期になっていますが、今日出かけに6年生の担任に子ども達がどのくらい携帯電話を持っているか聞いてみたのですが、女子はほとんど持っているが、男子はほとんど持っていないということでした。全体で4分の1ぐらいだということです。私のところの6年生は女子がかなり</p>

発 言 者	内 容
(山川委員) 佐藤委員	<p>少ないので。</p> <p>家の孫は八王子ですが、通うのが遠いので6年生になると、ほとんどの子が持っているというのが現状です。でも、親はフィルタリングのことは全然知らないし、子ども達がメールのやり取りでそんなにひどいことをしているのを全然知らない。健全に子ども達としゃべっていると思っている。</p>
齋藤委員	<p>携帯電話では通話はほとんど利用していないで、メールである。</p>
佐藤委員	<p>子どもは消すのをわかっているから、危ないのは全部消してあるので、親が見てもわからない。やり取りしたのは全部消してある。家の子はそういうのは帰ってきたら、毎日見ているから大丈夫という友達もいるけれども、子どもはバカでない。</p>
齋藤委員	<p>見られていいところだけ見せている。</p>
佐藤委員	<p>私も東京都の青少年健全育成協力員をしているので、現実にお母さんに本を見せたり、連れて行って、こういう本です。表はこうなんですという、お母さんのほうはびっくりしています。</p>
中井委員	<p>(持参の少女漫画「なかよし」、「マーガレット」を回覧する。)</p>
佐藤委員	<p>それは、やさしいほうですよ。</p>
中井委員	<p>本当にびっくりします。本屋に行くと如何に男の子の目を引くかみたいなものやファッション雑誌何かすごいばかりとかこんな景品とかで、新しく買ったのと、古本屋に行ったら100円ぐらいでたくさん手に入るようになっていきます。私も何を選んでいいのかかわからないもので、店員さんに買うようなフリをして5、6年生の女の子の買うのはどれかと聞いたら、5、6年生は「なかよし」であるという。</p>
中井委員	<p>インターネットで調べてみたら、少女コミック誌はPTAに評判が悪い。抗議があったので、表現をすごい過激なものから狭めたというのですが、とんでもないですね。</p>
佐藤委員	<p>小金井の本屋さんやコンビニにでも都心に比べてものすごくいい方です。ひどいところだと、コンビニにでもものすごい内容のものがおいてありますけれども、地域活動がいいのか、自動販売機はなくなったし、そういう点では、私達はひと月に1回本屋さんを点検して東京都に報告していますが、ちょっと怪しい本はできるだけ前はここにあったものが、本当に置かなければいけないくらいの形のものに減らして</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員)	<p>きたりしています。ただ、まんがはなかなか引っかかりません。写真はすぐ私達に連絡が来ますが、まんがは時間がかかる。通知が来る頃にはひと月過ぎていて、(お店にはない)</p> <p>コミックは週間ごとに出ますから、出たときはもう遅いです。</p> <p>警察の方でも、児童ポルノの摘発を警視庁でも、女の子の水着を挙げるようになりました。どんどんそういうものに手をかけていただきたい。表現の自由とか言論の自由とかそちらにいつても、指導するところと指導されるところの年齢差を見て、きちっとやっていかないと。</p> <p>30代から40代が一番買うそうですね。</p>
川畑委員 佐藤委員	<p>だから、あぶない。今日もテレビでしていましたが、夜回り先生というのですか言っていました、渋谷を出て、夜あちこち回ってくださるらしいのですが、子ども達がそういう点ではすごく荒れている。学校を休んでいたが、保健室まで連れて、保健室から家までをやりはじめたらよくなったから、友達のフリをしてメールアドレスを教えたといわれ教えたら「うざい。うるさい。死ぬ。」とすごい量が来て学校に行って、屋上から飛び込んだと言っていました。</p>
齋藤委員 佐藤委員	<p>モラルがなくなっている。事件を起こすのも30代位のお父さんとか、痴漢をするのも30代位の男です。</p> <p>私達も必死になって暑い中一軒一軒頭下げて、何の意味があるのかと思うこともありますが、それもひとつの努力としてやってきた。</p> <p>小金井市にもそういうものが、私達も小金井警察署の母の会と始めた頃は、ものすごく多かったです。それが自動販売機もなくなって、よそはわかりませんが、小金井市は地道に地域を歩いたからと思っています。</p> <p>私達子ども相手にしているから親が変なことになって相談に来られると、こんなことをしていたのと。親がパニックになってしまったから、これからも地域の、昨日も殺傷事件がありましたが、こんなのあると、特に4年生から上の子ども達は表にでれなくなってしまって、当分の間は地域としてもパトロールをすると何か強化しなければいけないのかと思っています。</p>
中井委員	<p>きのう、NHKの「クローズアップ現代」で子どもの放課後の過ごし方を放映していましたが、企業が事業として子どもを有料で預かっ</p>

発 言 者	内 容
(中井委員)	<p>て、親が迎えに来るまで遊び場も宿題をするのも親の要望どおりに子ども達を預かるというのを企業がしている。</p> <p>塾も子ども達が減ってきているからそういう教育産業を商売にしよう。それは、民間会社がすることではないと思いますが。</p> <p>安全を買うということですかね</p>
佐藤委員	<p>先ほどの公表できないというところで、話の腰を折って申し訳なかったです。</p>
中根委員	<p>なかなか、少年犯罪についての公表は難しいですね。</p> <p>健全育成の方は、どこまで健全育成で本人が更正できるかとなるとまだまだ難しいところです。</p> <p>居場所の件でいいますと、どうしても自分の行くところがないと友だちの家に行く。その家庭は子どもには無関心、部屋は持っているとなると、そこで、タバコを吸ったり、酒を飲んだりする。タバコを吸っているのは親も知っているが注意をしない。お金が入れば朝からパチンコで何万も稼いで、今日は稼いだから飲みに行こうと、そういうのがあります。</p> <p>早いうちから大人が関与していて、影響を受けられるような子どもの居場所があれば、横道にそれでももう一度戻れる機会が多いのかなと思います。</p>
遠藤会長	<p>少年の場合、少年院事件を起こした後また同じ友だち環境に戻ってきたら、絶対同じ繰り返しになります。</p>
中根委員	<p>いろいろ支援するグループとか支援施設に入っても、一緒にいて、脱線して、悪いことをして、また警察に捕まると。</p> <p>一度横道に行った子ども達がちゃんと社会で貢献できるような大人に成長する機会にならなければいけない。</p>
佐藤委員	<p>やはり、親ですよ。私達もそういう子ども達に関ってきましたが、親の話しひとつですよ。</p> <p>何とか学校に行かなければ、何か職業に就いて、少なくとも人に迷惑をかけないで、やれるようになるか、また仲間に引き込まれて負けていってしまうのか。</p>
齋藤委員	<p>子どもの育て方を知らない親が増えてきた。子ども支援センターなんか苦勞していますが。</p>
佐藤委員	<p>本当に子どもの育て方を知らない親が多いです。そうではなくて、</p>

発 言 者	内 容
(佐藤委員)	裁判所とか警察とか役人がこの子をどこに預け、戻したらいいのか、どこかに入れたほうが素直に育つかという審判だから、お前が腹を決めないと持っていかれてしまうよと、一人っ子だから、かわいいからということもあるだろうし、
齋藤委員	そういうのもあるし、自分が愛情を持って育てられていないから、子どもに対してどういう愛情表現をしていいかわからない。
佐藤委員	そうです。現に、引き取ってきて何万も小遣いをやっていた私の仲間がいっぱいいる。事件を起こして、バイクに乗って中学生からかっぱらっている人もいます。初めは警察やどこかへ行くと返してもらえますよね。何度もすると警察からがんがん言われて、初めて気がつく親もいっぱいいます。
遠藤会長	裁判所で処分が決まるまではすごく一生懸命するそういう傾向が強いですが。 私達に相談に来るから、ここで親が責任を持つから、できれば、別に税金をかけてこんなところにいれないでいいんだが、お前達がいい加減なことばかり行っていけば持って行かれるよとよくいうのですが、わかっていない。
佐藤委員	小金井にいるのか知りませんがバイクのかっぱらいはすごいです。家は下請けの連中が4人位いるのですが、
中根委員	昭島から来たり、行動範囲が広いです。
佐藤委員	子ども達も遊ぶところがない。中学校のまわりの公園に集まっているとすぐ110番されるし、今、暗くなるのが早いから、クラブ活動が終わったあと、公務員住宅のちょっとした公園のところに腰掛けている子ども達のグループがいたら、すぐにパトカーです。何をしているとかわからないとか、不安だとか。コミュニケーションが少なくなっているから（このような対応をしてしまうのかなと思う。）
齋藤委員	最近、大人が子どもの居場所を追い出している、そういうところもあります。
佐藤委員	大きい部屋のある家はないから結局、子ども達の部屋で、わからないところでしているのが現状ですよ。 杉並区では、大きな青少年センターといって、子どもに運営を任せるとあるセンターがあって、企画から運営から全部、体育館から、スポーツから、ゲームから、印刷からコンピュータまで好きに集まって、やれ

発 言 者	内 容
<p>(佐藤委員)</p> <p>遠藤会長</p>	<p>る。大人は一切口出しをしない。運営もいじめとか（の相談）も全部大学生を含む地域のボランティアグループがしている。井草にあります。</p> <p>私達も視察に行きました。利用者数もすごい人数だそうです。</p> <p>時間も迫ってきました。アンケート調査事項は、自分の好きな表現方法で寄せていただきたいと思います。近日中に事務局から郵便で送らせていただいて、できましたら、11月末位に事務局にお届けください。このような日程でよろしいですか。</p> <p>次の審議会は、2月下旬ごろということですので。いただきましたご意見を事務局でまとめていただき、会長、職務代理者で意見調整をしたものを次回にアンケート項目のたたき台としてお示ししたいと思い最近、大人が子どもの居場所を追い出している、そういうところもあります。</p> <p>議会の日程が入るそうですので、次回の日程は、その前の週の2月21日木曜日の午後2時から4時までということですのでよろしいでしょうか。場所は決まり次第ご連絡いたします。</p> <p>他に何か、是非この際発言しておきたいということがあれば（お願いします）。</p> <p>よろしいですか。それでは、本日はこの程度で終わらせていただきます。ご苦労様でした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

平成19年度第2回小金井市青少年の育成環境審議会

日 時 平成19年10月18日(木)

午後2時30分から

場 所 市役所第二庁舎301会議室

〈 次 第 〉

1 開会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 検討事項について

(2) 平成19年度青少年育成環境改善活動の実施について

(3) その他

平成19年度青少年育成環境改善活動実施要領

- 1 目的 内閣府及び社団法人青少年育成国民会議の主唱する「全国青少年健全育成強調月間（11月1日～30日）」と連動して、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある看板、はり紙等を撤去し、次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長する環境を守るための環境改善活動を実施する。
- 2 日時 平成19年11月22日（木）午後2時～3時30分
(小雨決行)
- 3 場所 (1) 活動場所
武蔵小金井駅南口及び北口周辺
(2) 集 合
午後2時、小金井市役所第二庁舎801会議室（8階）
- 4 内容 道路、電柱等に違反して掲出した看板、はり紙等で、青少年の健全な育成を阻害するおそれのあるものの撤去。（撤去した看板等は2週間保管の後処分する。）
- 5 協力者 小金井市青少年の健全な環境を守る協力員
・機関 小金井市青少年健全育成地区委員会
小金井警察署
東京電力（株）武蔵野支社
東電広告（株）多摩支社
NTT東日本—東京南営業サービス部
公衆電話サービスセンター

平成19年度青少年育成環境改善活動内容

班	区 域	参加者	活動内容	撤去物収集場所	活動時間	班 長
A	武蔵小金井駅 南 口 周 辺	東部地区の 協力員（地 区委員）	看板、は り紙等撤 去	市役所第二 庁舎北駐車 場の北側 （わんぱく 号）	午後2時 ～ 3時30分	橋本東部 地区委員 会会長
B		南部地区の 協力員（地 区委員）				橋本南部 地区委員 会会長
C		中部地区の 協力員（地 区委員）				中野中部 地区委員 会会長
D	武蔵小金井駅 北 口 周 辺	西部地区の 協力員（地 区委員）		公民館本町 分館（軽四 輪車）		佐藤西部 地区委員 会会長
E		北部地区の 協力員（地 区委員）				中野北部 地区委員 会会長
F		中央地区の 協力員（地 区委員）				星野中央 地区委員 会会長